

宿泊約款

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

適用範囲

第1条 1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申込み

第2条 1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
(1) 宿泊者名
(2) 宿泊日及び到着予定時刻
(3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
(4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

第3条 1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込み金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残金があれば、第12条に規定による料金の支払の際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限りです。

申込金の支払いを要しないとする特約

第4条 1. 前条項2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

宿泊契約締結の拒否

第5条 1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
(1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき
(2) 満室により客室の余裕がないとき
(3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき
(4) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき
(5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき
(6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
(7) 沖縄県旅館業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。
イ、宿泊しようとする者が、泥酔し、又は言動が著しく異常で、他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。
ロ、宿泊しようとする者が、身体又は衣服等が著しく不潔であるために、他の宿泊者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。
(8) 宿泊しようとする者が偽名で宿泊しようとしたとき

宿泊客の契約解除権

第6条 1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限りです。

3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

当ホテルの契約解除権

第7条 1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
(1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行をしたと認められるとき
(2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき
(3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき
(4) 天災など不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき
(5) 客室を宿泊及び宿泊者の飲食以外の目的で使用されたとき
(6) 客室に無断で危険物を持ち込んだとき（鉄砲、刀剣類、石油類、火薬類）
(7) 宿泊客が偽名で宿泊したとき
(8) 宿泊客がホテルの要求にもかかわらず宿泊者名簿を提出しなかったとき
(9) 沖縄県旅館業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。
(10) 客室（全室禁煙）内での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊の登録

第8条 1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
(1) 宿泊者の氏名、年齢、性別、住所及び職業
(2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
(3) 出発日及び出発予定時刻
(4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、事項の登録時にそれらを呈示していただきます。

客室の使用時間

第9条 1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から出発日の午前11時までとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
(1) 午後1時まで客室料金の30%
(2) 午後4時まで客室料金の50%
(3) 午後4時以降は客室料金の100%

利用規則の厳守

第10条 1. 宿泊客は、当ホテルにおいては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則と宿泊約款に従っていただきます。

営業時間

第11条 1. 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けのパンフレット、各所の掲示、各室内のホテルサービスのご案内等でご案内いたします。
(1) フロント・キャッシャー等サービス時間
イ、門限 正面玄関 24時間
ロ、フロントサービス 24時間
(2) 前項の時間は、必要やむをえない場合に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせいたします。

料金の支払い

第12条 1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントキャッシャーにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

宿泊約款

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

当ホテルの責任

第13条 1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それらが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当ホテルは、消防機関から、適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取り扱い

第14条 1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料は支払いません。

寄託物等の取り扱い

第15条 1. 宿泊客がフロントキャッシャーにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価格の明告を求めた場合で、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは、5万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントキャッシャーにお預けにならなかったものについては、当ホテルの故意又は過失により、滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価格の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、5万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

第16条 1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先だって当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は、所有者が判明しないときは、一定期間当ホテルで保管し、その後は遺失物法に基づいてお取り扱いさせていただきます。

3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、又前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

駐車責任

第17条 1. 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意又は、過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

宿泊客の責任

第18条 1. 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

2. 部屋鍵紛失の場合は10,000円の賠償金をいただきます。

免責事項

第19条 1. 当ホテル内からのコンピューター通信のご利用に当たっては、お客様ご自身の責任にて行うものとします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断しその結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。又、コンピューター通信のご利用に当ホテルが不適切と判断した行為により、当ホテル及び第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

別表第1. 宿泊料金等の内訳（第2条第1項及び第12条第1項関係）
………ホテル用（朝、夕食又は夕食を伴わない宿泊施設に適用）

		税金
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①. 基本宿泊料（室料又は室料+朝食料）
	追加料金	②. 追加飲食（朝食以外の飲食料）及びその他の利用料金
	税金	③. 消費税

- 備考1 基本料金は、ルームタリフにより公示した料金になります。
備考2 子供料金は、小学生以下（4才以上）に適用し、大人に準ずる食事と寝具等を提供した時は、大人料金の70%
子供用食事と寝具を提供した時は50%
寝具のみを提供した時は30%を頂きます。
備考3 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

別表第2. 違約金（第6条第2頁関係）◎予約の取消された場合の取消料

取消しの通知を受けた日	連不締泊又は参加無	当日	前日	2日前	3日前	4日前	5日前	6日前	7日前	8日～14日前	15日～30日前
予約申込人数											
1名～14名まで	100%	100%	50%	30%	30%						
15名～30名まで	100%	100%	50%	30%	30%	30%	30%				
31名～100名まで	100%	100%	80%	50%	30%	30%	30%	20%	20%	10%	
101名以上	100%	100%	80%	50%	30%	30%	30%	30%	30%	15%	10%

(注) 1. %は基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を收受します。

3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはその引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。

宿泊約款

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Article 1 Scope of Application

1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered between this Hotel and the Guests to be accommodated shall be subject to this Accommodation Provisions, and any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations, and/or generally accepted practices.
2. In case where the Hotel has entered into special contracts with the Guest, insofar as said special contracts do not violate laws and regulations or generally accepted practices, and notwithstanding the preceding paragraph, said special contract shall take precedence over the Accommodation Provisions.

Article 2 Application for Accommodation Contracts

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Names of Guest (s)
 - (2) Date(s) of accommodation and estimated time of arrival
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the attached Table No. 1)
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel
2. If the Guest, during his/her stay, requests an extension of the accommodation beyond the date(s) in subparagraph (2) of the preceding paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time said request is made.

Article 3 Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply if it can be proven that the Hotel had not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the Guest may be required to pay an accommodation deposit fixed by the hotel within the limits of the Basic Accommodation Charges covering the Guest's period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be used first to cover the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then second to cover any cancellation charges under Article 6, and then third to cover any reparations applicable under Article 18, the remainder, if any, shall be refunded at the time of payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
4. If the Guest fails to pay the deposit by the date stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, this provision shall apply only if the Guest has been informed by the Hotel of the specified payment period for the deposit.

Article 4 Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract that requires no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in Paragraph 2.
2. If the Hotel does not request payment of a deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or does not specify the date of payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract is accepted, the Hotel shall be treated as having accepted a special contract as prescribed in the preceding paragraph.

Article 5 Refusal of Accommodation Contracts

1. The Hotel shall have the right not to accept an application for an Accommodation Contract under any of the following conditions:
 - (1) If the application for accommodation does not conform to the Accommodation Provisions
 - (2) If the Hotel is fully booked and no room is available
 - (3) If the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself or herself in a manner that will break the law or infringe against public order or moral decency with regard to his or her accommodation
 - (4) If the Guest seeking accommodation is clearly carrying an infectious disease
 - (5) If the Hotel would be required to assume an unreasonable burden in regard to the Guest's accommodation
 - (6) If the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of its facilities and/or other causes beyond its control
 - (7) Situations that apply to the provisions of Article 5 of the Okinawa Prefecture Hotels and Accommodation Industry Ordinance
 - A) If the Guest seeking accommodation behaves or is deemed liable to behave in a manner that will infringe upon other guests of the Hotel due to intoxication or other causes
 - B) If the Guest seeking accommodation is, or wearing clothing that is markedly unclean, and deemed liable to trouble other guests of the Hotel
 - (8) If the Guest seeking accommodation tries to stay at the Hotel under a false name

Article 6 Cancellation of an Accommodation Contract by the Guest

1. The Guest is entitled to cancel an Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
2. If the Guest cancels the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is responsible (unless the Hotel has requested payment of a deposit during a specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has terminated the Accommodation Contract prior to this payment) and the Guest shall pay cancellation charges as listed in the

attached Table No. 2. However, if a Special Contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the above provision shall apply only if the Guest has been informed in advance of the obligation to pay cancellation charges in case of cancellation by the Guest.

3. If the Guest does not appear by 8 p.m. on the first day of accommodation (or within 2 hours of the expected time of arrival if the Hotel has been notified of it) without advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as having been canceled by the Guest.

Article 7 Cancellation of Accommodation Contracts by the Hotel

1. The Hotel may cancel an Accommodation Contract under any of the following conditions:
 - (1) If the Guest is deemed liable to conduct and/or to have conducted himself or herself in a manner that will break the law or infringe against public order or moral decency with regard to his or her accommodation
 - (2) If the Guest is clearly carrying an infectious disease
 - (3) If the Hotel would be required to assume an unreasonable burden in regard to the Guest's accommodation
 - (4) If the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes beyond its control
 - (5) If the Guest uses the guest room for purposes other than sleeping, eating, and drinking
 - (6) If the Guest brings dangerous objects such as guns, swords, gasoline or explosives into the Hotel without permission of the hotel officials
 - (7) If the Guest stays at the Hotel under a false name
 - (8) If the Guest does not submit details of guests in his/her party at the Hotel's request
 - (9) Situations that apply to the provisions of Article 5 of the Okinawa Prefecture Hotels and Accommodation Industry Ordinance
 - (10) If the Guest does not observe the rules prohibiting certain actions specified in the Regulations for Usage of the Hotel Facilities (restricted to prohibitions deemed necessary to prevent fire), such as no smoking in all guest rooms, and interfering with fire-fighting facilities.
2. If the Hotel cancels the Accommodation Contract in accordance with the preceding paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any services which he or she has not received.

Article 8 Registration

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:
 - (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s)
 - (2) For non-Japanese nationals, nationality, passport number, port and date of entry to Japan
 - (3) Date and scheduled time of departure
 - (4) Any other particulars deemed necessary by the Hotel
2. If the Guest intends to pay the Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than cash in Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, the Guest shall inform and present the Hotel of such means of payment at the time of registration prescribed in the preceding paragraph.

Article 9 Occupancy of Guest Rooms

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3 p.m. on the day of registration until 11 a.m. on the day of departure.
2. Notwithstanding the provisions prescribed in the preceding paragraph, the Hotel may permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the foregoing paragraph. In this case, extra charges shall be incurred as follows:
 - (1) Up to 1:00 p.m.: 30% of room charge
 - (2) Up to 4:00 p.m.: 50% of room charge
 - (3) Past 4:00 p.m.: 100% of room charge

Article 10 Observance of Hotel Regulations

1. The Guest shall observe the Regulations for Usage of the Hotel Facilities and Accommodation Provisions established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Article 11 Business Hours

1. The business hours of main facilities of the Hotel are as follows, and those of other facilities shall be set out in detail in brochures provided by the Hotel, notices displayed at various places, service directories in guest rooms, etc.
 - (1) Service hours of the Front Desk, Cashier's Desk, etc.
 - A) Main Entrance: 24 hours
 - B) Front Services: 24 hours
 - (2) Aforementioned hours may be changed due to unavoidable circumstances. We will notify you in appropriate ways in such cases.

Article 12 Payment of Accommodation Charges

1. A breakdown of the accommodation charges, etc. that the Guest shall be liable to pay is listed in the attached Table No. 1.
2. Accommodation charges, etc. as stated in the preceding paragraph shall be paid at the front desk at the time of the Guest's departure, or upon request by the Hotel in cash (Japanese currency) or by other means acceptable to the Hotel, such as traveler's checks, accommodation vouchers or credit cards.
3. Accommodation charges shall be paid even if the Guest voluntarily fails to use the accommodation facilities that have been made available to him or her by the Hotel.

宿泊約款

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Article 13 Liabilities of the Hotel

1. The Hotel shall compensate the Guest for any damages it might cause to the Guest in the fulfillment or nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, this provision shall not apply to damages for which the Hotel is not liable.
2. The Hotel has received the PASS MARK (Certificate of Excellence in Fire Prevention Standards issued by the Fire Department). Furthermore, the Hotel is covered by Hotel Liability Insurance to deal with fires and /or other disasters.

Article 14 Action by Hotel When Unable to Provide Contracted Rooms

1. If unable to provide a contracted room, the Hotel shall arrange accommodation of the same standard for the Guest elsewhere insofar as practicable, with the consent of the Guest.
2. If other accommodations cannot be arranged according to the provisions of the preceding paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges in the attached Table No. 2 as reparation. However, if the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel will not pay said compensation fee to the Guest.

Article 15 Handling of Deposited Articles

1. The Hotel shall compensate the Guest for any loss, breakage or other damage caused to goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, unless said damage has occurred due to causes beyond the control of the Hotel. However, if the Hotel has requested the Guest to report the type and value of cash and valuables, but the Guest has failed to do so accurately, the Hotel's liability to compensate the Guest shall be restricted to a maximum of 50,000 yen.
2. The Hotel shall compensate the guest for any loss, breakage or other damages caused by intent or negligence on the part of the Hotel to goods, cash or valuables brought into the premises of the Hotel by the Guest but not deposited at the front desk. However, the Hotel's liability to compensate the Guest shall be restricted to a maximum of 50,000 yen for articles whose type and value have not been reported in advance by the Guest.

Article 16 Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest

1. If the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his or her arrival, the Hotel shall be liable to keep it and to hand it over to the Guest at the front desk at the time of his or her check-in only if the Hotel has agreed to do so in advance.
2. If the baggage or belongings of the Guest are left behind after his or her check-out and their ownership is confirmed, the Hotel shall inform the owner of said belongings and ask for instructions. If no instruction is received by the Hotel from an owner so informed, or if ownership cannot be confirmed, the hotel shall keep articles left on the premises of the Hotel for a period which the hotel deems appropriate and thereafter shall surrender them to the appropriate authorities in accordance with the Lost Goods Act.
3. The Hotel's liabilities in regard to custody of the Guest's baggage and belongings as specified in Paragraph 1 and 2 of this Article are those set out in the provisions of Paragraphs 1 and 2, respectively of Article 15.

Article 17 Liability in Regard to Parking

1. The Hotel shall not be liable for the custody of any vehicle utilizing the parking lot in the Hotel, whether the key of the vehicle has been deposited with the Hotel or not, as the Hotel merely offers the space for parking at the driver's risk. However, the Hotel shall compensate the guest for any damage caused by intent or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Article 18 Liability of the Guest

1. The Guest shall compensate the Hotel for any damage caused by intent or negligence on the part of the Guest.
2. The Hotel shall charge the Guest 10,000 yen for loss of a room key.

Article 19 Liability of the internet

When you are going to use the computer communications system, please take your own risk. While using the computer communications system, failure suspends the service due to other reasons, hotel can't responsible. Also hotel can't responsible, when third person damage your computer system, and your business.

Table No. 1

Breakdown of Hotel Accommodation Charges, etc. (for accommodation facilities which do not provide breakfast and dinner or which do not provide dinner) (Ref. Paragraph 1 of Article 2, Paragraph 1 of Article 12 and related matters)

		Contents
Total Amount to be Paid by the Guest	Accommodation Charges	(1) Basic Accommodation Charge (Room Charge or Room Charge + Breakfast)
	Extra Charges	(2) Extra Food and Beverage (food and beverages other than breakfast) and Other Expenses
	Tax	(3) Consumption Tax

Note 1 : The Basic Accommodation Charge is based on the tariffs posted at the front desk and in the guest rooms.

Note 2 : Children's rate shall be applied to elementary school pupils and younger (4 years old or older). If meals, bed and linen equivalent to adults are supplied, 70% of adult's rate shall be charged, similarly 50% for the supply of children's meals, bed and linen, and 30% for only bed and linen supplies.

Note 3 : In case of a tax revision, we will observe the new regulations.

Table No. 2

◎ Cancellation Charges (Ref. Paragraph 2 of Article 6 and the related matters)

Contracted Number of Guests	Notified Date of Contract Cancellation										
	No Show with out Notice	Accommodation Start Date	1 Day Prior to Accommodation Start Date	2 Days Prior to Accommodation Start Date	3 Days Prior to Accommodation Start Date	4 Days Prior to Accommodation Start Date	5 Days Prior to Accommodation Start Date	6 Days Prior to Accommodation Start Date	7 Days Prior to Accommodation Start Date	8-14 Days Prior to Accommodation Start Date	15-30 Days Prior to Accommodation Start Date
1 to 14											
15 to 30											
31 to 100											
101 or more											

Remarks:

1. The percentages denote the rate of the cancellation charge with respect to the Basic Accommodation Charges.
2. If the contracted number of days is shortened, a cancellation charge for one day shall be paid by the Guest regardless of the number of accommodation days canceled.
3. For parties of 15 or more persons, no cancellation charge will be made if the number of canceling persons adds up to 10% or less of the total number (in round up figures) in the party, if it occurred 10 days prior to the accommodation (the received date, in case the application was received after the aforementioned days).